



独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院
Japan Community Health care Organization Osaka Hospital

看護ケア推進たより 11号

2016年8月



CN/CNS 活動報告会

7月1日(金)に看護学校視聴覚室にて、初めてのCN/CNS活動報告会を開催しました。CN/CNS会は認定・専門看護師がJCHO大阪病院における看護ケアの充実をはかり、病院の提供する医療の質の向上を目指すことを目的に活動しています。

今回の報告会は、看護ケアの質向上のために、CN/CNS活動の評価、広報、現場スタッフとの協働に繋げる場として開催いたしました。認定・専門看護師の活動を皆さんに知ってもらう初めての機会となり、今後のみなさんの看護に活用してもらえたらと思っています。



今井乳がん看護認定看護師

千葉大学看護学部内の教育課程3期生として研修、平成20年資格を取得。外来から病棟へ、そして外来へと部署や職位も変わった8年間だが常に乳がん患者さんと関わってきました。多職種チームの一員として、乳がん検診～治療中のケア、サバイバーシップやがん相談支援、看護職者の相談対応・指導など、今できることを実践します。

藤澤新生児集中ケア認定看護師

平成27年度の活動報告として、認定看護師の役割である【実践】【指導】【相談】に分けて報告を行いました。【実践】として、帝王切開での児受けでのケア、搬送入院児のケアについて。【指導】として、勉強会や講習会(新生児蘇生法)の実施について。【相談】として、スタンダードな症例に対する統一したケアについての報告を行いました。

田野岡脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

今回、皆様に自分の事を知っていただけたらと思い、認定看護師を目指した動機や事例を紹介させていただきました。また、昨年度の院内での摂食嚥下障害看護の実践状況を報告させていただきました。これからもチームの中の自己の役割を考え、患者様にとって必要な支援は何かを共に考え、より良いケアを繋げていけるよう頑張ります。

前田糖尿病看護認定看護師

昨年度の活動として、13 階西病棟での実践・スタッフへの教育をはじめ、院内全体では血糖コントロール指示書の改訂・見直し、針刺し事故対策、看護手順作成などに取り組んだことを報告しました。また毎週金曜日の活動日の実績とともに、病棟や外来・他職種と一緒に支援した1型糖尿病患者の事例を報告させていただきました。



高尾がん看護専門看護師

私は、①呼吸器病棟での心身の症状緩和や意思決定支援、看護ケアの理論的裏づけ等の活動、②放射線科外来での治療完遂に向けたセルフケア支援、③教育・研究への取り組み等について報告しました。発表に際し、CNSの6つの役割で『実践』の占める比重が大きいことに気づきましたので、今後は役割の拡大に努める次第です。

「ケア連携の会報告」



平成28年6月21日に第9回ケア連携の会を開催致しました。地域より26施設39名の皆様と当院職員46名、計85名が参加しました。今回は「インスリン自己注射が必要な認知機能低下のある独居高齢者の地域連携を考える」というテーマで、病棟看護師から事例紹介、担当ケアマネジャー・訪問看護師から退院後の療養生活と地域での支援の実際についてお伝え頂きました。地域の多職種の方々と病院の医師・看護師がグループワ

ークを行い、「それぞれの視点・考え方を聞いて良かった」という意見と共に、「患者様を支えたいという気持ちは同じであると感じられた」との意見を頂きました。病棟看護師からは「患者の退院後の生活を実際に知り、入院中にどのような関わり、看護が必要なのか意見交換を通して知ることができた」という意見が聞かれ、今後の患者・家族への看護と地域へケアを繋ぐ方法を見出すことのできる会となりました。ケア連携の会を通して顔の見える関係を築き、協働して患者・家族を支えることができるよう、今年度は4回の開催を企画しております。第11回は医療・看護トピックスの情報提供を企画しております。開催の折には、是非足をお運び頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

今後の開催予定

開催日	開催内容
9月12日(月)	事例検討会
11月22日(火)	医療・看護トピックスの情報提供
2月14日(火)	事例検討会

(療養福祉相談室 玉利由佳)

「きらり☆リンクナース」9階西病棟 根津千秋さん

リンクナース2年目となりました。循環器内科・心臓血管外科・腎臓内科病棟では、褥瘡リスクの高い患者さんが多く、安楽を保ちながら予防ケアを行う難しさを日々感じています。スタッフが「褥瘡？」と迷う時、一緒に観察・対策について考えていますが、私自身も褥瘡ケアに関してまだまだわからないこともあり、皮膚排泄ケア認定看護師に相談しリンクナースとして活動しながら成長できるよう取り組んでいます。毎日煩雑な中で褥瘡予防の視点を持つことも難しく、時には褥瘡発生してしまう事もありますが、発生原因からもう一度考えみんなで共有し、難しい患者さんの褥瘡が改善した時や、予防ができた時はとてもやりがいを感じています。褥瘡予防はひとりではできないと思うので、これからも病棟チームメンバー、病棟スタッフと共に、みんなで褥瘡予防に努めていきたいです。



(9階西病棟 根津千秋)

根津さんを含め、褥瘡対策実行委員会はチーム一丸となって褥瘡ゼロに向けて頑張っています！

(看護ケア推進室 中西由香)



「行ってきました！健康講座」



「訪問します！健康講座」は第8回目となりました。今回は、日ごろから健康に対する意識が高く、年間を通してさまざまな勉強会を企画されている上福島女性会の皆さまにお招きいただきました。

「家族が目の前で倒れたら！」というテーマで救急車への通報・心臓マッサージの演習を一緒に行いました。多くの方が人形で体験してください、「この2つの事だったら出来そう！」「やり方を家に貼っておくとね」とお言葉を頂くことができました。今回、私は初めて健康講座をさせていただきましたが、これからも地域の皆さまの健康づくりのお手伝いをさせていただきたいと思います。

(集中ケア認定看護師 澤井真理)



世界糖尿病デー inJCHO 大阪病院

下記日程で糖尿病デーイベントを開催する予定です。

(詳細はホームページに掲載予定)

日時：11月14日(月) 場所：JCHO 大阪病院 2階ラウンジ

ピンクリボンデー inJCHO 大阪病院

10月16日(日) 休日の乳がん検診

10月22日(土) 患者会



リエゾンナース 倉持副看護師長さんへインタビュー



～スペシャリストになろうと思ったきっかけ、今の思いとは～



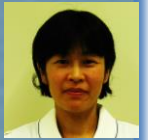
倉持副師長さんへはどのような相談をさせてもらえますか？

関わりの難しい患者さんやご家族への介入方法、カンファレンスをどのように展開・進行したらよいかなど、漠然としていてもいいので、ご相談いただきたいです。



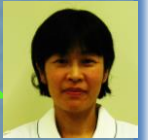
何故リエゾンナースになろうと思われたのですか？

精神科が楽しかったというのがありますね。精神科で心身相関の事例に触れ、とても勉強になり、そこからリエゾン領域に移りました。



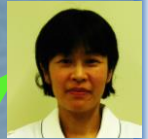
精神看護CNSは精神科の施設だけで働く場合と総合病院で働く場合があるんですね。

そうなんです。後者がリエゾンナースになります。一般科と精神科を「繋ぐ」役割があります。



リエゾンナースは患者・家族だけでなく、職員にも関わられますよね？

はい。責任の重い医療現場で従事していく中で、楽しいことだけでなく、しんどいことも沢山あると思います。そこで、皆さんのサポートをさせてもらえたら幸いです。



倉持副師長さんと話していると心が癒されます。思いを溜めこみ過ぎないことが大事ですね。

そうですね。もっとリエゾンナースというものを皆さんに知って、気軽に声をかけてもらえればと思います。



編集後記

私が病棟で勤務を行っている時は、感染や褥瘡、疼痛緩和の認定看護師さんに関わらせていただくことはありましたが、様々なCN/CNSの方々が具体的にどのような活動を行われているか知りませんでした。

今回のCN/CNS活動報告会での発表では、自分がスペシャリストになろうと思った志望動機から、現在どのような活動を行っているか、CN/CNSになるための苦労など色々な話を聞くことができました。このような発表を聞かれた方々の中には、スペシャリストになりたいという思いを抱いた方もおられたのではないのでしょうか。私も将来の目標を考えさせられた貴重な機会となりました。(医療安全管理室 大久保圭)